



このコーナーは新刊の心理学関連書籍を著者自らにご紹介いただくコーナーです。

誤解の心理学 コミュニケーションのメタ認知

三宮真智子

誤解には、笑って済ませられるものだけでなく、人間関係に暗い影を落とすものがあります。本書は、コミュニケーションにおける「誤解」という現象に着目し、多様な誤解事例を紹介するとともに、心理学を中心に、脳科学、言語学、文化論の知見をもとに、誤解がなぜ起こるのかを解き明かす本です。

誤解を考えるためには、コミュニケーションを客観的に眺めること、すなわちコミュニケーションに対するメタ認知が欠かせません。そうした理由から、本書に通底するのは「コミュニケーションのメタ

認知」であり、メタ認知を促す演習授業の実例も紹介しています。

誤解は、避けて通ることのできないものですが、見方を変えると、これほど興味深い現象はないと言えます。積極的に誤解と向き合い、誤解を引き起こす原因を探ることによって、心のメカニズムが明らかになるはず。人間関係にいたずらに臆病になるのではなく、誤解についてのメタ認知的知識を蓄えた上で積極的に人とコミュニケーションをとることによって、誤解をも克服する力身につけることができるでしょう。



著 三宮真智子
発行 ナカニシヤ出版
A5判 / 222頁
定価 本体2,500円＋税
発行年月 2017年2月

さんのみや まちこ
大阪大学大学院人間科学研究科教授。専門は認知心理学、教育心理学。著書はほかに『メタ認知：学習力を支える高次認知機能』（編著、北大路書房）、『教育心理学』（編著、学文社）、『考える心のしくみ：カナリア学園の物語』（北大路書房）、『心を育てるおやこあそびのえほん』『心を育てるおやこえほん』（いずれも監修、ミキハウス）など。

つじつまを合わせたがる脳

横澤一彦

高校生を読者層の中心と想定する岩波科学ライブラリーの1冊ですが、心理学の面白さに触れるきっかけになることを願いつつ書きました。ただし、そのような読者層を意識したつもりでも、編集者からは文章が難しすぎると書き直しを求められ、必ずしもグラフが内容を分かりやすくするわけではないとのアドバイスに従い、結果としてグラフや表が1つもありませんに仕上げました。代表的な心理現象を知っていただくために、ラバーハンド錯覚、マガーク効果、変化の見落とし、色嗜好などを各章

の導入として取り上げています。このような現象ならばすでに知っている方も多いかもしれませんが、ラバーハンド錯覚に温度感覚も伴い、マガーク効果と腹話術効果は独立であり、変化の見落としは逐次探索の中で生起し、色から連想される物体の違いで日米ではかなり色嗜好が異なることなどは、我々の研究グループの成果の紹介です。このような統合的認知の本質は、様々な情報が食い違う脳内での、瞬時に総合的な判断であり、それを「つじつまを合わせたがる」と表現し、書名としました。



著 横澤一彦
発行 岩波書店
B6判 / 128頁
定価 本体1,200円＋税
発行年月 2017年1月

よこさわ かずひこ
東京大学大学院人文社会系研究科教授。工学博士。専門は、認知心理学、認知科学。注意やオブジェクト認知などに関する論文多数。現在は、共感覚や感覚融合認知などを含めた統合的認知の研究に従事。著書はほかに『視覚科学』（勤草書房）、『注意』（共著、勤草書房）、『オブジェクト認知』（共著、勤草書房）、『心理学研究法』（分担執筆、有斐閣）など。